

令和3年度上半期岡山県広域水道企業団水道用水供給事業報告書

第1 事業の概況

1 概況

(1) 議会議決事項

上半期では該当なし

(2) 行政官庁認可事項

申請年月日	申請先	件名	認(許)可年月日	認(許)可番号
令和3年5月14日	岡山県	令和3年度(令和2年度からの繰越分)岡山県生活基盤施設耐震化等補助金交付決定	令和3年9月21日	岡山県指令保福第297号
令和3年7月14日	総務省	令和3年度上水道事業債協議	令和3年7月30日	総財営第23号

(3) 職員に関する事項

(単位:人)

区分	事務職員	技術職員	計
損益勘定所属職員	7	23	30
資本勘定所属職員	0	6	6

※上記のほか、損益勘定所属職員として、岡山県から派遣職員1人、岡山市から派遣職員1人がある。

(4) 料金その他主な供給条件の設定、変更に関する事項

受水者名	変更年月日	申込水量(m ³ /日)	供給地点
津山市	令和3年4月28日	366 → 146	・津山第2供給地点
津山市	令和3年4月28日	280 → 500	・津山第3供給地点
美咲町	令和3年5月19日	1,800 → 2,210	・中央第1供給地点
美咲町	令和3年8月1日	1,400 → 1,280	・柵原第1供給地点
美咲町	令和3年8月1日	800 → 920	・柵原第2供給地点

2 工事の概況

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) 吉井川系水道広域化施設整備事業 | 上半期では該当無し |
| (2) 高梁川系水道広域化施設整備事業 | 上半期では該当無し |
| (3) 改良事業 | 40,260,000円 |

3 業務

(1) 水道用水供給事業月別水量及び料金状況

(単位：m³，円)

区分	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	合計
基本水量 (日量)	6,549,000 (218,300)	6,767,300 (218,300)	6,549,000 (218,300)	6,767,300 (218,300)	6,767,300 (218,300)	6,549,000 (218,300)	39,948,900
使用水量	2,919,260	3,013,326	2,918,134	3,050,214	3,044,448	2,919,210	17,864,592
基本料金	222,666,000	230,088,200	222,666,000	230,088,200	230,088,200	222,666,000	1,358,262,600
使用料金	137,205,220	141,626,322	137,152,298	143,360,058	143,089,056	137,202,870	839,635,824
消費税及び地方消費税	35,986,975	37,171,291	35,981,669	37,344,658	37,317,572	35,986,739	219,788,904
合計	395,858,195	408,885,813	395,799,967	410,792,916	410,494,828	395,855,609	2,417,687,328

(2) 水道水質共同検査月別実施状況

(単位：件，円)

区分	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	合計
検体数	140	122	133	148	143	149	835
検査手数料	2,329,400	3,995,600	6,593,300	9,542,800	6,093,100	4,923,500	33,477,700
消費税及び地方消費税	232,940	399,560	659,330	954,280	609,310	492,350	3,347,770
合計	2,562,340	4,395,160	7,252,630	10,497,080	6,702,410	5,415,850	36,825,470

4 会計

(1) 重要契約の要旨

契約年月日	契約金額(円)	契約内容	契約の相手方
令和3年4月1日	316,386,113	令和3年度水道施設運転管理委託	津山市
令和3年4月1日	245,997,081	草加部浄水場（津山第2浄水場） 中央監視制御設備更新事業（令和3年度分）	津山市
令和3年4月1日	156,517,764	小田中浄水場・津山第1浄水場共同 導水管布設工事（令和3年度分） 委託	津山市
令和3年5月24日	88,000,000	山陽第2中継ポンプ場及び山陽第2 調整池盤設備更新工事	ミツワ電設（株）
令和3年7月19日	49,720,000	岡山浄水場3系ろ過池実施設計業務 委託	（株）日水コン岡山事務所
令和2年9月4日 （令和3年8月13日）	29,920,000 （33,231,000）	瀬戸中継ポンプ場築造及び送水管 布設実施設計業務委託	（株）ウエスコ岡山支社

※（ ）内は、契約変更後の契約年月日、契約金額である。

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

(単位：円)

借入先	前期末残高	借入高	償還高	9月末残高
財務省	13,102,825,354	0	684,382,179	12,418,443,175
地方公共団体金融機構	8,581,671,959	0	679,792,263	7,901,879,696
計	21,684,497,313	0	1,364,174,442	20,320,322,871

イ 一時借入金 該当事項無し

第2 経理の状況

1 水道用水供給事業予算収支状況（予算額及び予算執行額は消費税及び地方消費税を含んだ額） （1）収益的収支状況

（単位：円，％）

科目	予算額	執行額	執行率	備考
1 用水供給事業収益	6,885,292,000	3,328,726,053	48.3	うち仮受消費税及び地方消費税 225,591,508
(1) 営業収益	4,939,068,000	2,455,632,296	49.7	うち仮受消費税及び地方消費税 223,238,440
ア 給水収益	4,805,035,000	2,417,687,328	50.3	うち仮受消費税及び地方消費税 219,788,904
イ その他の営業収益	134,033,000	37,944,968	28.3	うち仮受消費税及び地方消費税 3,449,536
(2) 営業外収益	1,946,224,000	873,093,757	44.9	うち仮受消費税及び地方消費税 2,353,068
ア 受取利息及び配当金	321,000	12,558	3.9	
イ 他会計補助金	433,463,000	118,608,978	27.4	うち仮受消費税及び地方消費税 2,336,908
ウ 長期前受金戻入	1,512,337,000	752,494,000	49.8	
エ 雑収益	103,000	1,978,221	1,920.6	うち仮受消費税及び地方消費税 16,160
2 用水供給事業費用	(6,380,000)	(6,380,000)	(100.0)	うち仮払消費税及び地方消費税 (580,000)
	7,293,742,000	3,179,829,895	43.6	うち仮払消費税及び地方消費税 22,813,646
(1) 営業費用	(6,380,000)	(6,380,000)	(100.0)	うち仮払消費税及び地方消費税 (580,000)
	6,748,725,000	2,970,321,540	44.0	うち仮払消費税及び地方消費税 22,813,646
ア 原水及び浄水費	1,185,325,000	200,602,336	16.9	うち仮払消費税及び地方消費税 12,422,670
イ 配水費	(6,380,000)	(6,380,000)	(100.0)	うち仮払消費税及び地方消費税 (580,000)
	555,331,000	132,717,732	23.9	うち仮払消費税及び地方消費税 9,601,774
ウ 総係費	482,327,000	395,766,331	82.1	うち仮払消費税及び地方消費税 428,893
エ 減価償却費	4,448,137,000	2,224,068,500	50.0	
オ 資産減耗費	27,474,000	0	-	
カ その他の営業費用	50,131,000	17,166,641	34.2	うち仮払消費税及び地方消費税 360,309
(2) 営業外費用	544,951,000	209,508,355	38.4	
ア 支払利息及び企業債取扱諸費	404,496,000	209,508,355	51.8	
イ 消費税及び地方消費税	140,455,000	0	-	
(3) 特別損失	66,000	0	-	
ア 固定資産売却損	66,000	0	-	

※ （ ）内は、令和2年度からの繰越予算に係るもので、外数である。

(2) 資本的収支状況

(単位：円, %)

科目	予算額	執行額	執行率	備考
1 資本的収入	2,022,020,000	285,205,000	14.1	
(1) 企業債	821,000,000	0	0	
(2) 出資金	499,884,000	216,731,000	43.4	
(3) 負担金	225,872,000	0	0	
(4) 補助金	338,314,000	0	0	
(5) 借入金	136,949,000	68,474,000	50.0	
(6) 固定資産売却代金	1,000	0	0	
2 資本的支出	(40,260,000)	(40,260,000)	(100.0)	うち仮払消費税及び地方消費税 (3,660,000)
	4,801,086,000	1,438,414,255	30.0	うち仮払消費税及び地方消費税 4,683,264
(1) 建設改良費	(40,260,000)	(40,260,000)	(100.0)	うち仮払消費税及び地方消費税 (3,660,000)
	2,037,910,000	74,239,813	3.6	うち仮払消費税及び地方消費税 4,683,264
(2) 企業債償還金	2,745,292,000	1,364,174,442	49.7	-
(3) 県補助金返還金	17,884,000	0	0	-

※ () 内は、令和2年度からの繰越予算に係るもので、外数である。

2 令和3年度岡山県広域水道企業団水道用水供給事業会計損益計算書

(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	2,197,898,424		
(2) その他の営業収益	34,495,432	2,232,393,856	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	188,179,666		
(2) 配水費	128,915,958		
(3) 総係費	395,337,438		
(5) 減価償却費	2,224,068,500		
(6) その他の営業費用	16,806,332	2,953,307,894	
営業損失			720,914,038
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	12,558		
(2) 他会計補助金	116,272,070		
(3) 長期前受金戻入	752,494,000		
(4) 雑収益	1,962,061	870,740,689	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	209,508,355	209,508,355	661,232,334
経常損失			59,681,704
当期純損失			59,681,704
前年度繰越欠損金			23,331,422,060
当期末処理欠損金			23,391,103,764

3 令和3年度岡山県広域水道企業団水道用水供給事業会計貸借対照表

(令和3年9月30日現在)

(単位：円)

		資産の部	
1	固定資産		
	(1) 有形固定資産	95,940,361,259	
	減価償却累計額	△ 49,139,830,422	
	(2) 無形固定資産		46,800,530,837
	(3) 投資その他の資産		60,461,761,486
	固定資産合計		87,100
			107,262,379,423
2	流動資産		
	(1) 現金及び預金		3,416,000,724
	(2) 未収金		401,442,930
	(3) 前払金		182,049,811
	(4) 仮払消費税及び地方消費税		31,736,910
	流動資産合計		4,031,230,375
	資産合計		111,293,609,798
		負債の部	
3	固定負債		
	(1) 企業債		18,939,332,831
	(2) 他会計借入金		6,075,127,905
	(3) 引当金		479,016,570
	固定負債合計		25,493,477,306
4	流動負債		
	(1) 企業債		1,380,990,040
	(2) 仮受消費税及び地方消費税		225,591,508
	(3) 預り金		18,148,375
	流動負債合計		1,624,729,923
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金		68,528,804,653
	長期前受金収益化累計額		△ 30,566,719,155
	長期前受金合計		37,962,085,498
	(2) 建設仮勘定長期前受金		220,353,417
	繰延収益合計		38,182,438,915
	負債合計		65,300,646,144
		資本の部	
6	資本金		
	(1) 繰入資本金		67,910,991,195
	資本金合計		67,910,991,195
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		1,473,076,223
	(2) 欠損金		△ 23,391,103,764
	剰余金合計		△ 21,918,027,541
	資本合計		45,992,963,654
	負債資本合計		111,293,609,798

第3 令和2年度の決算状況

本年度の財政状況は、損益勘定では、用水供給事業収益が6,489,919千円で前年度と比較して8,202千円(0.1%)の増額となった。これは、当年度に移設補償金の収入があったことが主な要因である。

用水供給事業費用は7,194,626千円で前年度と比較して72,495千円(1.0%)の増額となった。これは、当年度は委託料等が多かったこと等が主な要因である。この結果、収支差し引き704,707千円の純損失となった。

資本勘定では、収入額1,168,076千円(税込)に対し、支出額3,647,148千円(税込)となり、2,479,072千円の不足額を生じたが過年度分損益勘定留保資金等で補填した。